

平成29年度

地方創生関係交付金 事業評価調書

## 目次

### ＜地方創生推進交付金＞

1. 耕作放棄地を活用した有機栽培の薬草による健康長寿のまちづくり事業・・・P 2
2. 今だけ、ここだけ、貴方だけ観光推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・P 5
3. インクルーシブソサイエティ（共生で賑わう社会）推進事業・・・・・・・・P 9
4. 企業サテライトオフィスの誘致から広がる持続可能な地域づくり事業・・・P 13

### ＜地方創生拠点整備交付金＞

1. 「青春×ロードバイク」映画による観光施設整備事業・・・・・・・・P 17

# 1. 耕作放棄地を活用した有機栽培の薬草による健康長寿のまちづくり事業（地方創生推進交付金）

**交付対象事業名：耕作放棄地を活用した有機栽培の薬草による健康長寿のまちづくり事業**

**事業額：5,890,546円 交付金充当額：2,945,273円（補助率1/2）**

## 事業内容

- 人口減少等により増加している耕作放棄地を有効活用し、町内での農業振興を図るため、薬草の試験栽培の実施や、薬膳の効能及び調理方法に係る講座の開催により、健康長寿のまちづくりを目指す。
- 平成29年度は、平成28年度に引き続き、町内の耕作放棄地を活用した町内の農業者等によるヨモギや紅花の栽培を行い、薬膳の効能を学ぶ講座や薬膳料理教室を計3回（7月、9月、12月）開催した。また、薬草の効能や調理レシピをまとめた冊子を作成し、各戸配布を行う等、薬膳に関する情報を町内に周知した。
- また、京都ライフサポート協会と連携し、障害のある方にも薬草栽培に取り組んでいただく「農福連携」に取り組んだ。
- さらに、耕作放棄地を含む町内の空き地を調査・把握した上で、空き地バンクを開設した。

## KPI

本事業における重要業績 評価指標（KPI）	事業開始前		本事業終了時の目標値		数年後の目標値		本事業終了時の実績値	
	現状の値	年月	指標値	年月	指標値	年月	指標値	年月
半農半X、週末農家育成、 定年帰農者数（人）	0	H28.4	7	H30.3	11	H31.3	16	H30.3
薬草の作付面積（反）	0	H28.4	3	H30.3	4	H31.3	3	H30.3
遊休土地登録バンクへの 登録数（件）	0	H28.4	10	H30.3	15	H31.3	1	H30.3
薬草の売上額（千円）	0	H28.4	2,250	H30.3	3,000	H31.3	27	H30.3

# 1. 耕作放棄地を活用した有機栽培の薬草による健康長寿のまちづくり事業（地方創生推進交付金）

## 事業の効果

- 薬草の栽培については、町で、まちづくりセンター椿坂の北及び多賀地区に約2反の農地を確保し、ヨモギや紅花の栽培を行っているほか、町内14名の農業者の方々も栽培を行っている。また、平成29年度からは、農福連携として、新たに京都ライフサポート協会の参画を得て、障がいのあるの方々による薬草栽培を実施しており、就労機会の確保につながっている。
- 平成28年度に引き続き、薬膳料理教室を3回開催し、延べ約55名の参加を得た。また、薬膳に関する基礎知識やレシピをとりまとめた冊子を作成し、各戸に配布することにより、薬膳に関する町内への周知を図ることができた。
- 実態調査により、町内の空き地の所在を把握し、空き地バンクを創設することができた。

## 今後の展開

- 今年度に入り、町役場にて栽培するヨモギや紅花の収穫が本格化したことから、町内外への提供に向け、更なる活用方策の検討を行う。また、健康長寿のまちづくりを推進するため、昨年度に引き続き、薬膳料理教室等の開催や庁内各課と連携した薬膳等に関する知識の周知に努める。
- 薬草の新規栽培の促進に向け、町による試験栽培を通じて培った薬草栽培に関する経過やノウハウについてとりまとめた報告書を作成する。
- 町内の空き地については、昨年度の調査により得られた町内空き地の所在情報を基にした更なるデータの整理や、制度の周知等による空き地バンクの充実等を通じた利活用を推進するための方策を検討する。

# 井手町地域創生推進会議による効果検証の結果

KPI（目標）に有効であるか	票数
有効であった	4
どちらかといえば有効であった	4
どちらともいえない	1
どちらかといえば有効とはいえない	1
有効とはいえない	0

## 委員の主なコメント

- 農業人口の維持は大きな課題であり、優先的に取組を進めるべき。耕作放棄地の活用とともに、施策として力を入れてもよいのではないか。農福連携は、更に大きく社会で広がる取組なので、引き続き力をいれてほしい。紅花の加工についても期待したい。（言論機関）
- 世の中は健康ブームであることから、薬草については興味を持つ方も多いと思う。町内にも耕作放棄地がたくさんあるように思うので、薬草の作付面積を増やしてはどうか。（まちづくり団体）
- 空き地バンクは、独自の先進的な取組。空き地に関するデータの整理を引き続き進めることは有効と考えられるので、今後のさらなる活用を期待する。また、薬草栽培については、事業としての一定の成果を得つつあるが、今後は、交付金が終了した後の事業定着を見据えた展開が必要。（行政機関）
- 薬膳料理教室やレシピの冊子があったことも知らなかった。取組自体は非常に良いことなので、たくさんの人に知ってもらえるようにした方がよいと思う。小学校や中学校などで、子どもたちに薬草栽培を体験させ、子が親に話すことで知ってもらえるのも一案ではないか。（産業界）
- 健康ブームに乗って、薬膳を使った飲み物やお菓子等の新しい商品開発を進めていけばよいのではないか。（産業界）
- 遊休土地登録バンクへの登録に当たっては、相続手続等がネックになることが多われるので、当該業務を取り扱う司法書士や金融機関にアピールすることが有効だと考える。（金融機関）
- 帰農者・作付面積数は評価できるが、空き地バンクの登録数については目標値が高く、達成にはもう少し時間が必要ではないか。（産業界）

## 2. 今だけ、ここだけ、貴方だけ観光推進事業（地方創生推進交付金）

**交付対象事業名：今だけ、ここだけ、貴方だけ観光推進事業**

**事業額：5,690,000円 交付金充当額：2,845,000円（補助率1／2）**

### 事業内容

#### 1. 山背古道観光推進事業【実績額：1,740,000円】

山背古道とその沿線振興のため、山背古道探検ガイドブック「お気楽途中下車」の発行や、散策経路を分かりやすくするための路面への案内マークの配置、山背古道PR動画の作成等を行い、「祖父母・親・子」3世代の繋がりを築くきっかけとして、交流人口の拡大や地域消費の活性化を行う。

#### 2. お茶の京都DMO分担金【実績額：1,400,000円】

地方創生加速化交付金により設立した「お茶の京都DMO」に分担金を支払い、広域・統一ブランディングでの観光・集客サービスや農・商地域産品のマーケティングの実施等を深化させる取組を実施する。

（井手町関係の主な取組内容）

##### ① マーケティング調査事業

- ・ 町内観光施設におけるアンケート調査の実施等を通じて、観光客の状況等を調査。

##### ② 着地型旅行商品・体験型旅行商品の開発・造成・販売

- ・ 11月に、万灯呂山展望台への訪問やまちづくりセンター椿坂でのお茶会を含むバスツアーを実施。

##### ③ 情報発信・プロモーション事業

- ・ 旅行事業者が参加する様々なイベントにおいて、井手町の観光情報を発信。
- ・ 地蔵禅院や万灯呂山展望台等、井手町の観光情報を含むパンフレットを日本語版、英語版で各々1万部制作。

#### 3. お茶の京都博事業【実績額：2,550,000円】

- ・ 各種イベントへのPRブースの出展や、ガイドブックを制作する。
- ・ 京都伝統工芸大学と連携し、井手町の特徴を取り入れた「一坪茶室」を制作の上、一坪茶室展でのPRを実施する。

## 2. 今だけ、ここだけ、貴方だけ観光推進事業（地方創生推進交付金）

### KPI（府全域）

本事業における重要業績評価指標（KPI）	事業開始前		本事業終了時の目標値		数年後の目標値		本事業終了時の実績値	
	現状の値	年月	指標値	年月	指標値	年月	指標値	年月
観光消費額 （億円／年）	8,138	H28.3	9,682.8	H30.3	12,000	H33.3	11,884	H30.3
観光入込客数 （万人／年間）	8,374	H28.3	8,874.4	H30.3	10,000	H33.3	8,687	H30.3
外国人宿泊者数 （万人／年間）	186	H28.3	236.9	H30.3	426	H33.3	361	H30.3



お茶の京都観光パンフレット



一坪茶室



山背古道PR動画

## 2. 今だけ、ここだけ、貴方だけ観光推進事業（地方創生推進交付金）

### 事業の効果

- 本事業によって路面上に配置した案内マークにより、道のりが分かりやすくなったとの声をいただき、平成30年5月27日に開催した山背古道は～ふウオークは、631人の方々が参加（昨年度：544名）し、盛況となった。また、「むすび家ide」で行われたアナログ遊びイベント（ベーゴマや竹とんぼ）では、子どもやその保護者、まちづくり協議会など約50名が参加し、昔ながらの遊びを通じて幅広い世代の交流が図られた。
- お茶の京都DMOにより、万灯呂山展望台への訪問や、まちづくりセンター椿坂でのお茶の淹れ方教室等を盛り込んだバスプラン「お茶の歴史と日本遺産を巡る旅」を平成29年11月18日に開催した。府内外より15名の参加があり、井手町の観光スポットを周知することができた。
- お茶の京都博については、平成29年4月3日・4日のオープニングイベント「さくら茶会」に始まり、本町では「お茶の京都映画祭」が開催されるなど、山城12市町村内で各種イベントが開催された。イベント実施時には、観光パンフレット等により、井手町の魅力を府内外の多くの方々に周知し、平成30年4月のさくらまつりでは、例年の入込客数に比較して1万人の増となった。

### 今後の展開

- 山背古道のウォーキングについては、民間企業においても旅行商品を企画するとの動きがあるところであり、そのような動向も踏まえ、引き続き、観光消費額の増加に向け、町の特産品のPR等に努める。また、平成29年度では城陽市、木津川市、本町の各々で実施したアナログ遊びプロジェクトについて、3市町が連携した新たな取組を検討する。
- お茶の京都博については、平成29年度をもって終結となったが、今後は、お茶の京都DMOと共に、引き続き、本町の道路状況等に合った周遊プランの作成や各種観光スポットの周知を図り、山城地域の魅力発信やエリア内の周遊につなげる仕組みを構築し、観光入込客数及び消費額の増加を目指す。



# 井手町地域創生推進会議による効果検証の結果

KPI（目標）に有効であるか	票数
有効であった	8
どちらかといえば有効であった	2
どちらともいえない	0
どちらかといえば有効とはいえない	0
有効とはいえない	0

## 委員の主なコメント

- 「さくらまつり」の来場者数が1万人増加したことは評価できる。井手町が、映画「神さまの轍」のロケ現場となったことで、今まで本町を知らなかった方々が一度行ってみようと思ったことも影響したのではないかと。（産業界）
- 町内の新しい観光スポットを開拓していただくとともに、大正池等について、観光面での取組の強化を期待する。また、井手町については、「お茶の京都」に沿った取組もよいが、他の野菜や筍の振興にも力を入れていけばよいのではないかと。（産業界）
- 「お茶の京都」としての取組が続くのであれば、観光向けの体験専用茶畑を用意するなど、井手町にお茶文化をより広める活動が必要ではないかと。また、山背古道のウォーキングについて、民間企業が入ることは評価できる。（産業界）
- 観光は、産業の柱の一つにしなければならない事業であり、手を尽くして推進してもらいたい。井手町は誇るべき歴史があるため、古代の歴史へのロマンを体感できるようなモデルコースやパンフレットの発行を検討していただければ、住民の町への愛着やおもてなしの姿勢の充実にもつながると考える。また、井手町の観光資源が注目される契機となるため、DMOには積極的に関わっていただきたい。（言論界）
- 山城古道探検ガイドブックや井手町のイベント情報について、資料がどこで手に入るのかわからない。子育て支援センターにも置いていただくと手に取る機会が増えるのではないかと。（子育てサークル）
- 引き続き、民間企業への積極的なPRを継続していただきたい。JR奈良線を利用している外国人観光客を取り込んでどうか。（金融界）

### 3. インクルーシブソサイエティ(共生で賑わう社会)推進事業(地方創生推進交付金)

交付対象事業名：インクルーシブソサイエティ(共生で賑わう社会)推進事業

事業額：38,370,506円 交付金充当額：19,185,253円(補助率1/2)

#### 事業内容

##### 1. 特別支援学校設立に向けた障害者等の社会参画支援事業【実績額：6,126,666円】

- ①障害者就労支援のための訓練施設通所事業【実績額：421,060円】
- ②外出困難な障害者福祉タクシー事業【実績額：916,900円】
- ③高齢者や障害者の生きがい通所事業【実績額：3,809,000円】
- ④高齢者(障害者等)のための図書館出張貸出事業【実績額：346,420円】
- ⑤高齢者から幼児への絵本読み聞かせ事業【実績額：98,362円】
- ⑥生涯活躍のための健康づくり支援事業【実績額：534,924円】

##### 2. 地域で活躍する高齢者による地域コミュニティ再生に取り組む団体への補助金【実績額：32,243,840円】

- ①町内の地域資源(史跡や旧跡、玉川)整備事業【実績額：70,000円】
- ②青少年健全育成事業【実績額：350,000円】
- ③美しいまちづくり推進事業【実績額：550,000円】
- ④健全な体育・スポーツ活動の普及、振興による明るいまちづくり推進事業【実績額：3,150,000円】
- ⑤高齢者(障害者等)の食生活改善活動を実施している団体への補助【実績額：100,000円】
- ⑥拠点施設(井手町立デイサービスセンター)改修費【実績額：28,023,840円】

### 3. インクルーシブソサイエティ(共生で賑わう社会)推進事業(地方創生推進交付金)

KPI (府全域)

本事業における 重要業績評価指標 (KPI)	事業開始前		本事業終了時の 目標値		数年後の目標値		本事業終了時 の実績値	
	現状の値	年月	指標値	年月	指標値	年月	指標値	年月
スポーツ、文化、芸術、レクリエーション活動への障がいのある人の述べ参画者数(年間) 【府全域】	11,636	H28.3	14,000	H30.3	17,000	H33.3	12,425	H30.3
農福連携に係る地域交流イベントの参加者数(人)	751	H28.3	1,000	H30.3	1,750	H33.3	1,360	H30.3
農業実施事業所における平均工賃月額の上昇(円)	17,180	H28.3	18,000	H30.3	19,800	H33.3	未発表	H30.3

### 3. インクルーシブソサイエティ(共生で賑わう社会)推進事業(地方創生推進交付金)

#### 事業の効果

- 訓練施設通所事業や福祉タクシー事業については、昨年度に比較して利用件数・利用者割合が増加しており、障がいのある方の社会参加促進に寄与している。また、高齢者や障がいのある方々を含め、様々な方々が活動するデイサービスセンターの改修により、そうした方々のレクリエーション等が可能な場の確保が図られた。
- 図書館出張貸出事業では、高齢者の方から「本を読む機会の確保につながっている」と引き続き評価を得ているほか、絵本の贈呈事業についても、対象者数に対する利用者数の割合が増加しており、幼児が本に親しむ機会の増加に寄与した。
- 地域団体の活動にも、高齢者等をはじめとして、多くの住民の方々が参加しており、住民参加のまちづくりの推進に寄与している。

#### 今後の展開

- 平成30年度に改訂した井手町障がい者基本計画や高齢者保健福祉計画の内容を踏まえ、障がいのある方や高齢者なども含め、地域で暮らす全ての人々がお互いに支えあい、安心して充実した生活を送ることができる共生社会の実現に向け、社会参加の促進に資する事業を引き続き実施していく。
- 京都産業大学の活動拠点「むすび家ide」における多世代間交流や、薬草による健康長寿のまちづくり事業との連携などの方策について、引き続き検討する。

# 井手町地域創生推進会議による効果検証の結果

KPI（目標）に有効であるか	票数
有効であった	6
どちらかといえば有効であった	4
どちらともいえない	0
どちらかといえば有効とはいえない	0
有効とはいえない	0

## 委員の主なコメント

- 引き続きの事業展開を期待したい。（産業界）
- 高齢者が安心して生き生きと暮らせるまちづくりはこれからも進めていってほしい。（まちづくり団体）
- 井手町の地域社会の魅力はみんなで支え合っていること。誇るべき町民意識を支える施策で、積極的に推進していただきたい。支援学校の開校もあり、井手町の魅力がさらに広く伝えられるのではないか。井手町は町の規模としてもちょうどいいと思う。障害者や高齢者が社会に参加できることや互いに顔の見える関係になっていることは災害時の力にもなる。（言論界）
- 絵本読み聞かせ事業は子どもも喜ぶ。定期的にあればいいと思う。（子育てサークル）
- 絵本読み聞かせ事業については関わったことがあるが、このように親子で参加できる事業をもっと増やしてほしい。（子育てサークル）
- 賑わう社会の確立には、高齢者や障がいのある方の地域社会への積極的な参加が必要であり、今後も継続的な取組を期待する。また、高齢者や障がいのある方が社会進出可能な機会の創出が課題。（金融界）
- 事業は主旨に沿って進められているが、これらの直接的な民生施策については、他の事業とも連携を図り、より幅の広い多面的な展開も検討していくことが重要。（行政機関）
- K P I は未達成だが、各数値指標については向上しているため、一定の評価はできるのではないか。また、福祉タクシー事業について、利用者が増加していることは評価できる。（産業界）

## 4. 企業サテライトオフィスの誘致から広がる持続可能な地域づくり事業(地方創生推進交付金)

交付対象事業名：企業サテライトオフィスの誘致から広がる持続可能な地域づくり事業

事業額：5,406,108円 交付金充当額：2,703,054円(補助率1/2)

### 事業内容

#### 1. 空き家を活用した京都産業大学井手応援隊活動拠点事業【実績額:2,727,869円】

##### ① 京都産業大学井手応援隊活動拠点「むすび家ide」運営事業【実績額:2,027,869円】

地域の「学びと交流の場」として、町内小学校の児童を対象とした学習イベント「寺子屋」「親子科学教室」や、地域住民向けの生涯学習講座を実施することにより、まちの賑わいづくりを支援する。

##### ② 学生による地域課題解決支援事業【実績額:700,000円】

平成の名水玉川や山城竹などの地域資源に着目した取組の実施や、「むすび家ide」の今後の更なる活用方法(学生カフェや田舎暮らし体験の実施等)の検討等、学生による地域課題の解決に向けた活動を支援する。

#### 2. 地域課題解決に取り組むまちづくり団体の活動拠点運営、団体活動を支援【実績額:2,678,239円】

井手町まちづくり協議会による「井手町まちづくりセンター椿坂」の運営費用等を支援する。また、平成29年度が「お茶の京都」のターゲットイヤーに当たることを踏まえ、看板が老朽化していた同センターについて、文字彫刻が施された石看板を設置することで、施設名称の認知度の向上を図る。



寺子屋や親子科学教室の開催



地域活性化イベント(井手！みねーしょん)の開催



まちづくりセンター椿坂の石看板設置

#### 4. 企業サテライトオフィスの誘致から広がる持続可能な地域づくり事業 (地方創生推進交付金)

KPI (府全域)

本事業における重要業績評価指標 (KPI)	事業開始前		本事業終了時の目標値		数年後の目標値		本事業終了時の実績値	
	現状の値	年月	指標値	年月	指標値	年月	指標値	年月
本事業の取組によるサテライトオフィスの誘致件数 (件/年間)	0	H28.3	1	H30.3	29	H34.3	1	H30.3
本事業の取組により田舎の地域で就職した者数 (人/年間)	93	H28.3	103	H30.3	148	H34.3	94	H30.3
本事業の取組により大学等と連携した地域課題解決のためのフィールドワークに参加した学生数 (人/年間)	5,181	H28.3	5,500	H30.3	6,580	H34.3	6,804	H30.3

## 4. 企業サテライトオフィスの誘致から広がる持続可能な地域づくり事業（地方創生推進交付金）

### 事業の効果

- 「むすび家ide」については、京都産業大学井手応援隊等により、寺子屋（8月～11月）、親子科学教室（8月）、住民向けの生涯学習講座「まちの魅力体験講座」（3月）がそれぞれ開催され、延べ約300名の利用があった。継続してご利用いただいているご家庭もいらっしゃるなど、町の子育て環境の向上等に寄与している。
- 京都産業大学鈴木ゼミにより、井手町の「名水」に着目した調査を実施し、調査の結果について、リーフレットの形でとりまとめることで、町内の社会資本の再発見につながった。
- 井手産の抹茶と京都産業大学で生産しているハチミツとのコラボレーションにより、町の新たな特産品として「むすび飴」を開発した。
- 平成29年度が「お茶の京都」のターゲットイヤーに当たることを踏まえ、まちづくりセンター椿坂について、文字彫刻を施した石看板を設置。施設の認知度向上に向け、老朽化した看板に代わり、景観に調和した魅力を増やすことができた。

### 今後の展開

- 「むすび家ide」では、昨年度に引き続き、好評を得た寺子屋活動等の取組を実施する。また、キッチンやトイレ等について必要な補修を行い、地域の「学びと交流の場」として、小学生に限らず幅広い世代の交流を目指した更なる利活用方法の検討等を進める。
- 平成30年度より、町内の具体的課題についての検討やその解決方法の提案を学生に依頼する「キャップストーンプログラム」を新たに実施し、町外の若者の力による町内課題の解決や町と大学との結びつきの深化を推進する。
- 従前より実施している秋の地域活性化イベント「井手！みねーしょん」等については、関係団体からの協力を得つつ、町の魅力を発信するイベントとして、更なる内容及び周知の充実を図り、交流人口の増加を目指す。



# 井手町地域創生推進会議による効果検証の結果

KPI（目標）に有効であるか	票数
有効であった	9
どちらかといえば有効であった	1
どちらともいえない	0
どちらかといえば有効とはいえない	0
有効とはいえない	0

## 委員の主なコメント

- 京都産業大学をはじめ、フィールドワークに参加した学生数が昨年に比べて大幅に増えていることは評価できる。（産業界）
- むすび家ideは、活動拠点として重要な役割を果たしている。世代の違いを超えた交流の場として引き続きの発展を期待したい。（まちづくり団体）
- 今後、大学入試でボランティア活動が評価されることになる。町内の中高生がむすび家でボランティア活動を行えるようにするのはどうか。また、住民が主体的に参加する手作りイベントは、その温かみから、今後、ますます人気が出るだろう。「井手！みねーしょん」への様々な世代の参加に期待したい。（言論界）
- 地域づくりに関する目標達成に当たっては、どれだけの住民の参加者を増やせるかが非常に重要。取組をやり遂げる学生らの思いに期待したい。（産業界）
- 学生が作成した資料やリーフレットは評価できるが、住民との交流がまだ少ないと思われる。せっかく素晴らしい資料を作っていただいているので、もっと身近になっていただきたい。また、むすび家ideの補修後の活用にも期待したい。（産業界）
- 寺子屋や親子科学教室は小学生が対象なので、それよりも小さな子どもが親子で参加できるイベントがあればいいと思う。（子育てサークル）
- むすび家ideの活用策を考えていくことが必要。検討に当たっては、地域とのつながり方をうまく考えることや、コミュニティの活性化につなげることに留意しつつ、住民の集える場づくりを目指したいところ。（行政機関）

# 1. 「青春×ロードバイク」映画による観光施設整備事業(地方創生拠点整備交付金)

交付対象事業名：「青春×ロードバイク」映画による観光施設整備事業

事業額：10,887,480円 交付金充当額：5,443,740円

## 事業内容

- ロードバイクレーサーが頻繁に使用するコース上に立地している大正池グリーンパークについて、これまで本町を通過するだけであったロードバイクレーサーが立ち寄り、メンテナンス等の一時利用ができるウッドデッキの整備や、ロードバイクレーサー宿泊者向けにロードバイク設置場所が確保されたバンガローウッドデッキ、テントサイト等の整備を行う。
- また、冬季期間の利用者の伸び悩みを解消し、年間を通じてロードバイクレーサーを受け入れるため、夏季期間のファミリーを想定して整備されている空調設備等について、冬季期間でも快適な宿泊が可能となるように空調設備等の機能強化を図る。



空調設備の機能強化



テントサイトの整備



ウッドデッキの整備

# 1. 「青春×ロードバイク」映画による観光施設整備事業(地方創生拠点整備交付金)

## KPI (府全域)

本事業における重要業績評価指標 (KPI)	事業開始前		本事業終了時の目標値		数年後の目標値		本事業終了時の実績値	
	現状の値	年月	指標値	年月	指標値	年月	指標値	年月
大正池グリーンパークの入場者数 (人/年間)	8,292	H28.3	8,500	H30.3	8,812	H33.3	9,030	H30.3

## 事業の効果

- 井手町を走行するロードバイクレーサーは数多いが、特に、井手町から和東町へ抜ける府道と東井手線はヒルクライムコースとしてロードバイクレーサーに人気がある。そして、大正池は、その府道と東井手線沿いに位置し、ロードレースを取り上げた映画「神さまの轍」のロケ地にもなったことから、ロードバイクレーサーの途中休憩スポットとして適していると考えられる。
- 本事業により、休憩や自転車のメンテナンスが可能なウッドデッキの整備等を行えたことから、そうしたロードバイクレーサーを呼び込みやすくなり、更なる入込客数の増加を見込むことができるようになった。

## 今後の展開

- 本事業による施設整備に関する情報をHP等で周知することにより、通常のキャンプ等利用者に加え、ロードバイクレーサーによる施設利用の増加を図る。
- また、映画のロケ地となったことや、改修が図られた設備を活かし、ロードバイクレーサーを動員できるイベント等の実施を検討するなど、更なる入込客増加に向けた事業を推進する。

# 井手町地域創生推進会議による効果検証の結果

KPI（目標）に有効であるか	票数
有効であった	8
どちらかといえば有効であった	2
どちらともいえない	0
どちらかといえば有効とはいえない	0
有効とはいえない	0

## 委員の主なコメント

- 有王地域には、大正池グリーンパークだけではなく、たくみの里等もあるので、連携を強化して取組を進めていってほしい。（産業界）
- 大正池については、社としても100人規模で毎年2回、森林保全支援活動を行っており、また、CSR推進実行委員のメンバーでも月1回（夏冬除く）、チェーンソーを使って間伐・除伐も行っているため、とても愛着がある。冬場の閑散期に利用客を増やすことが今後の課題であるが、ロードバイクレーサーの立ち寄り所には適しているのではないか。（産業界）
- ロードバイクも井手町の資源であり、山城地域においては井手町が中心地となっている、町として何ができるか、部署を超えて検討していただきたい。（言論界）
- KPIの達成は評価できるが、PRをより強化していただきたい。グリーンパークの宿泊客への各種PRや井手町の特産品販売など、取組を進めるに当たって商工会とも連携していただきたい。（産業界）
- 大正池グリーンパークで宿泊可能なことを知らなかった。宿泊できるところが他にもあればいいと思う。（子育てサークル）
- ロードバイクに乗る人は、常識を守っているものの、以前、子供を散歩している時に真横ぎりぎりを走り抜けられ、少し怖い思いをした。交通規則について、椿坂や大正池グリーンパーク等において看板等により周知することも重要ではないか。（子育てサークル）
- 設備改修や各種イベント企画開催を通じた受け入れ態勢の強化を期待したい。（金融界）